

第二回役員会（第24期第19回） 議事要旨

1. 日時 令和2年4月30日（木） 11:00～12:00
2. 形式 ビデオ会議
3. 出席者 石川部長、平井副部長、武田幹事、丹下幹事
4. 議題と議事内容

1) 前回議事要旨の確認（資料1）

前回議事要旨（案）は、原案通り承認された。

2) 提言案の幹事会審査の進め方

今後全体で75件程度の提言・報告の審査が予定される中、午後に開催される幹事会懇談会で、提言プラットフォーム（資料2-1、懇談会資料）等を用いた効率的な審査体制が議論される。

第二部関係の提言の取り扱いについて、特にどこまでを今期の審査対象とするかについて議論した。原則4月末日で二部審査を終了している提言が対象となるが、2月末までに提出済みも含めることも検討された（資料2-2）。これについては、幹事会懇談会での全体の結論を待って、部長が第二部の分科会へ通知を行うこととした。

3) 生命科学選考分科会について

選考委員会からの会員の推薦案（3名）について、部長より説明があった。午後の選考委員会で決定の予定。

今後連携会員の推薦作業に移ることになる。役員会として、特に候補として推する人があれば、早めに関係する分科会へ参考情報として伝えることとした。各役員からの意見を集約し、部長より伝達する。

4) 大規模感染症予防・制圧体制検討分科会の検討状況について

大規模感染症分科会ポータルサイトについては、部長より説明があった。役員会として、以下の基本的なスタンスについて合意した。

a) 国内外の研究者向け（英語表記のみ）

b) 国、地方公共団体、公的性格を持った団体（医師会、学会など）などから公表されている1次資料のうち重要なものを選んだ上でリンクを貼り、日本語での公表資料については英語での注記をつけ、海外からの利用の便宜を図る（学術会議の研究成果・意見の公開は行わない）。

さらに部長より、分科会の提言について、第一弾を6月中に発出する予定であり、そのため5月14日の幹事会での頭出し、5月28日の幹事会で審議を目指すとの説明があった。学術会議の活動として、重要で緊急性を認め、役員会としても協力すること、提言のドラフトを事前に査読することなどが合意された。